

5月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,248	100	10,157	104	87	83	1	0.0	関東産は生育おおむね順調も終盤を迎え品質低下の懸念がある。北海道、東北産は暖冬傾向により、生育全体に進んでおり、例年より早く中下旬から出荷開始の産地が出そろ見通し。総入荷量は前年と横ばい。価格は全根によりも安いが平年よりは高い。上旬は関東産の潤沢入荷で下げ展開だが、中旬以降は上げ気配強まる見通し。
ほうれんそう	1,454	100	1,419	467	96	430	0	0.0	群馬、茨城、埼玉産など関東もの中心の入荷となる天候の変動による入荷量の増減はあるが、基本的に平年作と順調。夏秋産地は残雪少なく、作業、生育進捗とも前進傾向。総入荷量は前年並み、価格は前年より若干安いが、平年より若干高い。量的に不足はなく、連休がらみの相場の上昇の可能性はあるも、中旬には買いやすい売価設定となり下旬は安定の見込み。
ねぎ	3,466	103	3,749	450	80	347	5	0.1	茨城、千葉、埼玉産など関東もの中心。関東産の夏ねぎは生育前進傾向。早めの作型ものは抽苔の懸念もあるが、前年より太りは良く作柄は概ね順調。総入荷量は前年より微増、価格は高騰した前年より大幅に下回るが、平年より高め。上旬は田植え作業と春ねぎ・夏ねぎとの移行期で少なく、相場は上げ気配高まるも中旬以降は夏ねぎの増量にともない下げに入る。
きゅうり	8,689	100	8,482	227	97	222	50	0.6	埼玉、群馬、茨城、千葉産中心の入荷。埼玉・群馬のハウスは雪害前の9割まで回復。関東産の加温、無加温タイプとも順調入荷の見込み。宮城県も作柄良く、連休明けから量も出そろ。総入荷量は順調だった前年並み、価格もほぼ横ばい。連休後に全体のピークとなり下げ幅大きい模様。下旬に加温タイプが切りあがり、端境となる予想から相場上向くと見込まれる。
トマト	8,958	103	9,934	357	84	302	21	0.2	関東産地、西南暖地産とも生育環境は前年より良く、総入荷量は前年から微増、価格は前年を下回るがほぼ平年並み。5月は気温上昇しトマトの需要高まるが、連休明けは荷動き鈍く、下げ展開が予想される。